



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社 アルメディオ  
 コード番号 7859 URL <http://www.almedio.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画・情報開示・IR担当 (氏名) 井野 博之

TEL 042-511-0500

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,621	0.7	50		64		79	
29年3月期第2四半期	1,632	21.0	61	50.1	14	89.2	3	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 89百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 111百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	8.37	
29年3月期第2四半期	0.41	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,254	2,617	61.3
29年3月期	3,818	2,694	70.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,605百万円 29年3月期 2,693百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.50	2.50
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,650	16.9	30	1.3	15	54.7	25		2.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正については、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	9,702,316 株	29年3月期	9,702,316 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	118,437 株	29年3月期	288,937 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	9,493,092 株	29年3月期2Q	9,051,357 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

#### 四半期決算補足説明資料関係

・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト(<http://www.almedio.co.jp/>)のIR情報ページに掲載いたします。Financial Data Bookには、事業別売上高ほか業績推移等をまとめております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な経済政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しております。

一方、世界経済は、中国及びアジア諸国における地政学的リスクの拡大や、新興国経済の先行き及び欧米の政治動向への懸念など、不確実性が高まり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、平成29年5月12日付「再成長計画(ReGrowth2017)の実施について」で公表したとおり、新たな収益事業の早期育成を目指し、事業構造改革を進め、当社の企業価値再成長に向けて「経営体制の強化」と「新成長ドライバーの確立」に引き続き取り組みました。

再成長計画に基づき検討を進め、今後成長が見込まれる市場での新たな事業化を目的として、平成29年5月29日付「株式会社グローバルサーチが運営する不動産総合比較サイト「イエカレ」の事業譲受けに関する契約締結のお知らせ」で公表したとおり、事業譲受けによりWEBビジネス事業へ参入しました。平成29年6月1日から活動を開始しましたが、業務移管が長期化し、本格的な営業活動の立ち上がりが遅れたことに加え、想定以上の統合費用が発生したことから、計画した業績を確保することが出来ませんでした。

また、インダストリアルソリューション事業で注力してきました画像認識技術を活かした外観検査装置ビジネスにつきましても、早期の収益化の実現は困難であると判断し、平成29年5月29日を以って撤退しました。

なお、平成29年7月20日付「中国子会社設立に関するお知らせ」及び平成29年10月2日付「(開示事項の経過)中国子会社設立に関するお知らせ」で公表したとおり、中国市場でのカップ式自動販売機のオペレーション事業に参入するため、中国上海市に当社100%資本の子会社(愛飲(上海)貿易有限公司)を平成29年9月25日に設立しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高16億21百万円(前年同四半期比0.7%減)となりました。利益面は、営業損失50百万円(前年同四半期は営業利益61百万円)、新株予約権発行費4百万円の発生等により経常損失64百万円(前年同四半期は経常利益14百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失79百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業譲受けにより新たなセグメントとして「WEBビジネス事業」を新設しております。

#### アーカイブ事業

当事業は、重要な情報を長期に亘って保存及び利用するための長期保存用光ドライブと長期保存用光ディスクの販売を行う「アーカイブ」と、産業用及びAV機器用光ドライブの開発・製造・販売を行う「ストレージソリューション」が含まれます。

アーカイブは、企業活動によって得られた過去の蓄積データの長期保存と、保管コスト削減を目的とした需要に対し、長期保存用光ドライブ及び長期保存用光ディスクを起点としたソリューション提案を行いました。販売体制の強化のため、ECサイトの活用に加え、国内販売網の再構築を行い、新規顧客として医薬品メーカーへの販売を開始しました。更に、第1四半期連結会計期間より拡充した新規商材の拡販を行いました。

ストレージソリューションは、産業機器用光ドライブ搭載率の低下スピードは鈍化傾向にあり、国内外ともに堅調に推移しました。前年同四半期は、国内向けAV機器用光ドライブのスポット販売が発生しましたが、当第2四半期連結会計期間は受注が得られず、売上は前年同四半期を下回りました。

以上により、アーカイブ事業の売上高は7億79百万円(前年同四半期比10.5%減)となりました。

#### 断熱材事業

当事業は、連結子会社・阿爾賽(蘇州)無機材料有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っております。また、当社でも同社製品を中心とした輸入販売を行っております。

国内では、延伸していた案件の受注が確定したことや、施工時期の繰上げ等が発生しました。また、大型案件の受注を獲得したため、計画を上回りました。九州事業所では、産業炉加熱プラントの設計施工案件の受注拡大を図りました。

阿爾賽は、前事業年度から販売を開始した窯道具の売上が好調に推移したものの、太陽光発電用炉材向け製品の原材料供給が間に合わず製品出荷が不足したことが影響し、売上は前年同四半期を下回りました。

国内の売上は計画を上回りましたが、阿爾賽が計画を下回ったことにより、断熱材事業全体の売上は前年同四半期を下回りました。

以上により、断熱材事業の売上高は6億12百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。

#### インダストリアルソリューション事業

当事業は、オーディオ・ビデオ機器やコンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスク等の開発・製造・販売を行う「テストメディア」と、画像認識技術を活かした検査装置等の開発・販売及び検査業務等を行う「検査機」、及び各種ディスクの特性テスト受託等を行う「テストング」が含まれます。

テストメディアは、中国の日系自動車需要が第1四半期連結会計期間から好調を維持したため、カーオーディオ・カーナビ等の車載機器向けの販売は、ほぼ計画どおりに推移しました。一方、AV機器市場及びPC市場においては、光ディスク以外の媒体への移行が進んでいることから、売上は前年同四半期を下回りました。

外観検査装置は、製品の改良や機能追加等の開発費用がかさみ、技術サポート体制の整備に時間がかかることから、早期の収益化は困難であると判断し、平成29年5月29日を以って撤退しました。

テストングは、光ディスクの市場縮小により受託件数が低下したため、売上は前年同四半期を下回りました。

以上により、インダストリアルソリューション事業の売上高は86百万円（前年同四半期比30.0%減）となりました。

#### WEBビジネス事業

当事業は、売却や投資等を検討している不動産オーナーと不動産企業をマッチングする不動産総合比較サイト「イエカレ」の運営・管理を行っております。

事業譲受けにより、平成29年6月1日から活動を開始しております。売上の拡大のため、営業スタッフの構成比率を高め、「イエカレ」の新たな参画企業を獲得する活動に注力しました。社内体制の構築と業務移管作業を並行して進めてまいりましたが、業務移管及び業務システム等の統合作業が想定よりも長期化し、業務の本格立ち上げに時間を要したことから、計画を下回りました。

以上により、WEBビジネス事業の売上高は1億43百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、のれんの増加等により、前連結会計年度末に比べて4億36百万円増加し、42億54百万円となりました。負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べて5億13百万円増加し、16億36百万円となりました。純資産は、ストック・オプションの権利行使に伴う自己株式処分差損の発生等により、前連結会計年度末と比べて77百万円減少し、26億17百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,298,653	1,261,194
受取手形及び売掛金	644,904	668,662
商品及び製品	560,309	446,962
仕掛品	102,292	88,546
原材料及び貯蔵品	97,089	120,986
その他	100,325	164,628
貸倒引当金	△433	△433
流動資産合計	2,803,143	2,750,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	455,261	443,173
土地	209,069	209,069
その他(純額)	177,161	211,122
有形固定資産合計	841,492	863,364
無形固定資産		
のれん	52,439	498,536
その他	8,321	15,392
無形固定資産合計	60,761	513,928
投資その他の資産	112,634	126,447
固定資産合計	1,014,888	1,503,740
資産合計	3,818,031	4,254,287

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	182,366	223,684
短期借入金	209,636	365,000
1年内返済予定の長期借入金	191,276	109,232
未払法人税等	9,174	16,791
賞与引当金	34,349	35,539
売上値引引当金	2,859	2,924
その他	202,051	188,197
流動負債合計	831,713	941,370
固定負債		
長期借入金	145,000	565,000
退職給付に係る負債	95,760	84,934
その他	50,767	45,564
固定負債合計	291,528	695,498
負債合計	1,123,241	1,636,868
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,138,126	1,138,126
資本剰余金	1,091,506	1,091,506
利益剰余金	641,573	428,653
自己株式	△230,206	△94,362
株主資本合計	2,640,999	2,563,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	827	746
為替換算調整勘定	51,526	41,129
その他の包括利益累計額合計	52,354	41,875
新株予約権	1,435	11,621
純資産合計	2,694,789	2,617,419
負債純資産合計	3,818,031	4,254,287

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,632,528	1,621,616
売上原価	1,074,877	1,124,763
売上総利益	557,650	496,853
販売費及び一般管理費	496,250	547,777
営業利益又は営業損失(△)	61,400	△50,923
営業外収益		
受取利息	945	1,557
受取配当金	505	516
助成金収入	4,262	-
受取賃貸料	143	1,343
その他	1,088	200
営業外収益合計	6,944	3,617
営業外費用		
支払利息	3,440	4,904
為替差損	50,424	5,104
新株予約権発行費	-	4,966
その他	90	1,729
営業外費用合計	53,955	16,704
経常利益又は経常損失(△)	14,389	△64,011
特別利益		
固定資産売却益	-	351
特別利益合計	-	351
特別損失		
固定資産除却損	-	52
退職特別加算金	-	2,722
特別損失合計	-	2,775
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	14,389	△66,435
法人税、住民税及び事業税	26,278	19,417
法人税等調整額	△8,174	△6,391
法人税等合計	18,104	13,025
四半期純損失(△)	△3,714	△79,461
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,714	△79,461



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△3,714	△79,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84	△81
為替換算調整勘定	△107,396	△10,397
その他の包括利益合計	△107,312	△10,479
四半期包括利益	△111,026	△89,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△111,026	△89,940
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	アーカイブ 事業	断熱材事業	インダストリアル ソリューション 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	870,386	638,768	123,373	1,632,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	870,386	638,768	123,373	1,632,528
セグメント利益	87,148	106,887	31,750	225,787

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	225,787
全社費用(注)	△164,386
四半期連結損益計算書の営業利益	61,400

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	アーカイブ 事業	断熱材事業	インダストリアル ソリューション 事業	WEB ビジネス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	779,399	612,109	86,313	143,794	1,621,616
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	779,399	612,109	86,313	143,794	1,621,616
セグメント利益又は損失(△)	64,975	58,196	44,213	△41,640	125,744

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	125,744
全社費用(注)	△176,668
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△50,923

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、事業譲受けによりWEBビジネス事業に参入したことに伴い、報告セグメントとして「WEBビジネス事業」を新設しております。

## 4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、事業譲受けによりWEBビジネス事業に参入したことに伴い、「WEBビジネス事業」のセグメント資産を計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては490百万円であります。